

パソコンいっくら教室新聞

さて、新年度が始まりました。パソコンを始める前に避けていたことをもう一度。今更聞けない「パソコン用語」。横文字が多くて…など諦めずに再確認です。

パソコンの基本用語



通信に関する用語

パソコン本体に関する用語

◆ CPU (中央演算装置)

パソコンの心臓部で、実際の計算を担当する機器。文字などのデータの入力や出力を制御し、答えを出してくれる。この部品が優秀かどうか、パソコンの性能に大きく影響します。

◆ メモリー (主記憶装置)

CPUで計算した結果を、一時的に保存しておく機器、また、その計算に使用するソフトやデータも一時的に保存しますので、容量は大きいにこしたことはありません。

◆ ハードディスク (補助記憶装置)

メモリで一時的に保存していたデータを、恒久的に保存する機器です。パソコンを動かすためのソフトや仕事をするためのソフト、作成した書類などすべてのものが保存されます。

◆ SSD (ソリッド・ステート・ドライブ)

ハードディスクに変わる記憶装置です。ハードディスクより軽量で小さく、読み書きする速度も早いです。

◆ USBメモリ

パソコンの端子(USB端子)に挿して、データの保存用に使用する小さい機器。

◆ SDメモリーカード (SDカード)

主にデジタルカメラで使用されることが多い保存機器です。(マイクロSDカードはスマホで使用)

◆ 光学ディスク

CDやDVD、ブルーレイディスクなどの総称。データを保存するディスクには変わりがないですが、1枚のディスクに保存できる容量が異なります。

◆ ストレージ

データを保存しておくための機器の総称。

◆ OS (基本ソフト)

パソコンを動かすためのソフト。電源を入れ、マウスを動かし、文字を入力し、画面に写し、保存し、印刷し…など、様々な制御を行います。製品ではマイクロソフトの「ウィンドウズ」、アップルの「マックOS」「iOS」、グーグルの「アンドロイド」などがあります。

インターネット回線

インターネットの仮想空間の入り口までをつないでくれる回線です。業者では「NTT」「e光」「au」「J-COM」などです。

◆ プロバイダ

インターネットの仮想空間に接続してくれる「接続業者」です。実際は接続するための「ID」「パスワード」を発行してくれます。「ぶらら」「OCN」「So-net」など接続業者は多数あります。前述の「NTT」以外は、プロバイダも兼ねています。

◆ Wi-Fi (ワイファイ)

パソコン(子機)と通信機器(親機)とを無線で接続する方法です。通常自宅では、インターネット通信を月額で契約している場合が多いと思いますので、自宅でのパソコンとの接続を無線で行っておくと、他の通信機器も無線で接続できるようになります。特にスマートフォンは通信契約が月額ではありませんので、自宅では無線接続すると月の通信量が節約できます。

◆ IPアドレス

インターネット通信を行う時、パソコンそれぞれに割り振られる番号のこと。このアドレスが分かると、どこから接続しているかがわかります。匿名性が言われるネット上ですが、実は筒抜けです。このアドレスは契約時にプロバイダから割り振られます。通常、他のアドレスを調べることを、個人ではできません。

◆ ルーター

インターネットに繋ぐために、自宅に設置する機器です。IPアドレスはこれに割り振られます。これとパソコンを接続します。無線にするなら、Wi-Fiルーターにします。

パソコン用語は、まだまだありそうですね。次月も続きをお話したいと思います。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからご覧いただけます。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>



See you next month

